



さやかグループ広報誌

# SAYAKA

2020.1

No. 86





# 流行語大賞 「ONE TEAM」 に思う

社会福祉法人清心会  
理事長 村山 勇治

令和元年度ユーキャン流行語大賞に「ONE TEAM」が選ばれた。このフレーズの意味するところの心地良さとともに、昨年日本国中を熱狂させた、ラグビーワールドカップにおける、日本チームの活躍が影響していることは明らかだ。

野球人間でラグビーのルールさえろくに知らなかった私を含め、今回のワールドカップは、ラグビーと言うスポーツの裾野をとてつもなく大きく広げる役割を果たした。そもそもラグビーには、トライ、スクラム、ノーサイド、ハーフタイムなど日常会話に使われている用語が少なくない。中でもノーサイドと言うラグビー特有の用語は、肉弾戦の激しさがあるだけに際立っている。

敵意むき出しの試合も終われば、言葉通りどちらの側でもない、敵味方が称え合う精神は、発祥地イングランドに由来すると言う。

ラグビーは紳士のスポーツと言われる所以はここにある。ちなみにノーサイドの精神は選手の誰もが持ち合わせているものかどうか、大学でラグビーに明け暮れた岡部施設長に聞いてみたが、そんな綺麗ごとで済むものではないらしい。勝ち負けの伴うスポーツ、無理もない。ただ、発祥地イングランドの精神は、そうありたい、そうでなければと言いつづけてきたものと思う。

さて、本題の「ONE TEAM」だが、承知の通り今回史上初の決勝トーナメント進出を果たした日本チームは、いわば多国籍軍、大半の外国人は日本の企業チームに所属しているとはいえ、言葉や習慣、その上文化や価値観も違う。そんなチームを前回の大会以後、4年の歳月をかけ、厳しい練習を通じてチームを一つにまとめ上げなければ、到底ベスト8への壁は破れなかったろう。

私たちの事業所においても「チームケア」の重要性が指摘される中、「ONE TEAM」と言う奥の深い言葉の意味を改めて考えてみたらどうだろう。

## マレーシアボルネオ島 スタディーツアー 12/11～12/16に参加して

さやかグループでは、多くの職員に対し、法人内外において様々な学びや自己啓発、見識を高める研修の機会を提供しています。これまで30回にわたり福祉セミナーを開催してきた意味も同様で、地理的に研修の機会を得にくいこの秩父地域においても、他地域同様の学びの環境を確保したいとの思いからでした。現在は、全国の様々な法人事業所とネットワークを構築することができ、同志たちと共に学び多くの刺激を得られるようになりました。

そのような中、今回はマレーシアのボルネオ島へ支援と視察を兼ねた研修に2人の幹部職員を派遣しました。ここでは、視察研修報告を掲載させていただきます。(社会福祉法人清心会 総合施設長 岡部浩之)

### さやかワークセンター 所長 長島純一

ボルネオ島のシブという町を訪れた。この町の原住民のイバン族の文化の中には「ゴトンロヨン」という言葉があり、その意味は「一緒に働く」というもので、さらには「働いた後には皆で酒を飲んでBBQをして楽しむ!」という意味が込められている。

福祉施設関係者が日本全国から集まり、23名の方がゴトンロヨン、ワークキャンプに参加した。空港での互いのぎこちなさが印象的であった。

長旅の後、「テイセタームヒバ」に着いた時には、メンバーが打楽器を叩き演奏し歓迎してくれた。首飾りを首にかけてくれ最初から感動的な印象であった。言葉もわからないし、文化も違うので不安ではあったが、スタッフ、メンバーの笑顔に癒され、安心して過ごすことができた。

滞在中は施設内の池の清掃や駐車場のセメント打ちをメンバーと一緒にやった。力作業においても身体の不自由さを感じさせないアクティブさで活動されており、何と云っても笑顔が素敵で周りの人に幸せを与えてくれ、我々も楽しく作業に取り組むことができた。共に作業することで言葉の壁は自然と消え、簡単な単語やジェスチャーなどで意思疎通を図ることができるようになり、改めて「ゴトンロヨン」の素晴らしさを身に染みて感じた。

メールやラインなどのSNSがコミュニケーションの主流になっている昨今の中で、ここでは失われつつある人と人の繋がり、心と心のつながりを「ゴトンロヨン」を通じて強く感じる事ができた。人間の原点である、助け合い、思いやりが本当に大切であることを感じ、心が熱くなるものがあった。



### ふらわあ事業所 副所長 田端義郎

日本からクアラ Lumpur まで約8時間、そこから飛行機で2時間、さらにそこから車で1時間半の場所にあるジャングルに囲まれた「テイセタームヒバ」にて、6日間の貴重な体験をしてきた。異国の地で不安もあったが、ムヒバに到着して直ぐに皆が笑顔で出迎えてくれ、とても救われた。一緒に道路の補修作業を行ない、池の清掃作業などを行う事で、言葉は通じなくても人と人の心は通じ合うものだと言った。また、ロングハウス訪問やゴトンロヨン(地域の方々との共同作業)を通じて、地域の皆さんとムヒバの利用者の方が自然と溶け合い、認め合い、支え合っている事にとっても温かさを感じた。改めて福祉の原点、楽しさ、幸せを感じられる期間であった。

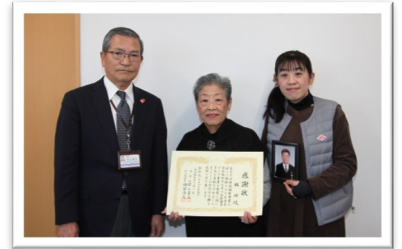
制度に関しては日本の方が遥に発展をしているのだが、制度だけではない心の内面に感じられる事が多くあり、大きな刺激を受けた。今、法人が力を入れている共生社会や虐待防止の根底に通じる物があると感じた。

また、全国各地からこのツアーに参加された方々と同じ気持ちを共有でき、仲間が出来たのは自分の中でとても大きな財産になった。この研修で得た多くの物を決して忘れることなく日々の実践に活かしていきたい。

## 訃報

去る令和元年10月1日、14年間の長きに亘り理事・評議員としてご尽力いただきました林 功様をご逝去されました。長年の功績を称えご家族へ感謝状と記念品が贈呈されました。

利用者・職員一同謹んでご冥福をお祈りいたします。



## さやかこども支援センター新設

清心会では、平成10年度から、障がい児の地域における生活を支えつつ、身近な地域で療育相談を提供する目的で「総合支援センターフレンドリー」を開設し療育事業に取り組んでまいりました。また、平成27年度から、小中高生の療育を必要とされる子どもたちを対象に、放課後受け入れへの要望に応えるため、放課後等デイサービス事業所「さやかキッズクラブ」をスタートしました。



これらの取り組みを一層推進するべく、乳幼児期から小中高就学中にかけて、障がいのある子どもたちの支援を切れ目なく行うとともに、その家庭を支えていく目的で、令和2年4月からの開所を目指し、秩父市栃谷地区に多機能型障害児通所事業所（児童発達支援と放課後等デイサービスの併用）「さやかこども支援センター」を、建設中です。 さやかこども支援センター準備室室長 岡田啓介

## 発達障がい支援事業所たかしの開所のご挨拶

さやか事業所の『ファイト』、ふらわあ事業所の『エール』の二つのグループは、かねてより高篠福祉交流センターにおいて活動を続けてまいりました。

令和元年10月1日、お一人お一人にあった、かつ専門性のある、より充実した支援を実現するべく、二つのグループを併せて、新しく『発達障がい支援事業所たかしの』を開設する運びとなりました。

さやかグループの一員として、他の事業所との連携も深めながら、より質の高い支援を実施してまいります。今後ともよろしくお祈りいたします。

発達障がい支援事業所たかしの所長 小笠原浩史



## 粘土アーティスト 浅見翔吾 画伯

今回表紙を飾った

皆さんの目に触れる機会も多くなりました「粘土アート」の職人浅見翔吾さん。

翔吾さんが好んで作るのは、「かわいいくるま」「カラフルな6Pチーズ」「信号機」など規則的に並ぶ色がお気に入りです。

リクエストにも答えてくれ、「小さいねずみ」を伝えると、翔吾さんがイメージして形にしてくれます。とてもかわいく、どれも繊細な作品が生み出されています。

翔吾さんの作品はどれも1点もの。是非皆さん、手にして触れてください。ほっこりした気持ちになりますよ。 ふらわあ 大島宏子



幸恵さんの「とりあえず喰ってみ！」

### 「ゆで卵」の巻

またまた卵の話になるが  
 煮卵と引けを取らずゆで卵が好き  
 (煮卵の巻 令和元年6月号掲載)  
 もう10年くらい前になると思うが  
 池袋の駅で  
 味がついているゆで卵に出会った  
 普通 ゆで卵には別に塩がついていた  
 池袋の駅のは殻が付いているのに  
 中はちょうど良い味がついていた  
 キツネにつままれたような気分だった  
 家で大量の塩で卵をゆでてみたが  
 おんなじにはできなかった…  
 だから当時は池袋に行くのが楽しみだった  
 行ったら必ず買った  
 ゆで卵が好きな友達とふたりではまった  
 それが今ではコンビニで手に入る  
 東京に行ったお土産にはできなくなった  
 すごい時代になったなあと感じている  
 ちょっとお高いが  
 たまには自分へ  
 ご褒美にしてあげる



## ぽっぽの味噌を贅沢に使った

### ネギ味噌ラスク

材料4人分

バケット・・・半分 ネギ・・・2本  
 ぽっぽ味噌・・・40g 蜂蜜・・・20g  
 有塩バター・・・20g

作り方

- ①バターは室温に戻して置き、ネギはみじん切りにする。バケットは薄くスライス、オーブンは150℃に予熱しておく。
- ②ネギは軽く炒めた方がよい。
- ③ボウルにぽっぽ味噌、蜂蜜、ネギ、バターを入れ合わせる。
- ④バケットに片面にむらなく塗り、予熱しておいたオーブンに入れ、よい焼き色が付いたら完成。

今回のレシピはぽっぽの味噌を使ったラスクです。

材料なども簡単に手に入り、おやつなどに丁度良い1品です。

蜂蜜が入る事によって、コクが出てあまじょっぱい味がくせになり、手が伸びます。

ご飯に乗せても美味しいネギ味噌をバケットに乗せ焼いたことによりサクサクとねぎのピリ辛さがありこれもオススメの1品です。

### 蜂蜜味噌ラスク

材料4人分

バケット・・・半分 蜂蜜・・・50g  
 砂糖・・・お好み ぽっぽ味噌・・・70g  
 無塩バター・・・50g

作り方

- ①バターは室温に戻して置き、バケットは薄くスライス、オーブンは150℃に予熱しておく。
- ②蜂蜜、ぽっぽ味噌を合わせる。蜂蜜は味噌の塩気によって調整した方がよい。
- ③室温に溶かしておいたバターに味噌を入れ、なめらかになるまで混ぜる。
- ④バケットの片面にむらなく塗り、砂糖をまんべんなく振る。オーブンで焦げない程度に焼いたら完成。



### ぽっぽオススメ商品



#### イチゴ・オレ

1個160円  
 大好評発売中

大きめのダイスカットされた粒々苺が入った甘酸っぱく美味しい苺クリームとホイップクリームが入ったパンです。まるでショートケーキを食べたような感覚をお楽しみください。

### 販売店舗

☆ぽっぽ横瀬店

(営業時間：10:30~16:00/定休日：土・日・祭日)  
 〒368-0072 秩父郡横瀬町横瀬4299-1 ☎0494-26-6613

☆ぽっぽのお店 ばらーど

(営業時間：10:00~16:00/定休日：土・日・祭日)  
 〒368-0044 秩父市本町7-4 ☎0494-25-3100

☆ぽっぽ長瀬店

(営業時間：10:30~17:00/定休日：土・日・祭日)  
 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬59 ☎0494-69-2880

### 利用者さんが皆さんから仕事請け負いますよー！！

僕たちはメンテナンス班で活動をしています。お墓の清掃、支援学校やさやかワックスがけ等を行っています。忙しいけど仕事はやりがいがあるって、毎日いろんな仕事ができているよー

どんな仕事でもみんな頑張っています。職員やわかる人に聞きながらその仕事が上手になっていきます。それでも分からない時は自分が納得するまで話を聞いてから仕事に入っていきます。中途半端で仕事に入らずに理解してから仕事に入ると、スムーズに仕事ができ周りからも頼られて仕事に自信がついて、その仕事が楽しくなっていきます。

ワックスがけ等を請け負っているので、興味がある方はふらわあまで連絡をください。

メンテナンス班：鈴木正樹、佐々木登一



#### ＝編集後記＝

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

昨年、さやか広報は皆様のご協力のもと、予定通りに発行をする事が出来ました。今年も皆様にとって役に立つ、情報満載な広報をお届けしたいと思っています。皆様にとって楽しみの一つになれる様に、今年も頑張っていきたいと思っております。 田端義郎

